

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	はなまる学園
------	--------

公表日 2026.2.12

利用児童数 7

回収数 3

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3					利用者数が多い日は、机等の移動を広くフロアを利用できるよう工夫しています
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2			1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3					主な活動場所はワンフロアとなっているため、見守りがしやすくなっています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	3					清掃、消毒等は毎日行い清潔に保つよう心がけています
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	1				情報はスタッフ間ですぐに共有し、支援の変更等あれば実践しています
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2			1	年間を通してどのような支援プログラムなのか分からない	支援プログラムをHPに公表しているが周知されていない保護者もいたため周知徹底していきたい
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2	1				児童発達支援管理責任者とスタッフが日々の情報を共有し作成しています
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1	2				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					計画に沿って支援を行えるよう、計画書の資料はすぐに確認できるよう配置しています
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1	1		1		平日のご利用時は時間が短く、難しいため祝日や長期休暇中にイベントや製作を行っています
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。			1	2		児童クラブや児童館との交流の機会は設けていません。今後検討できるよう努力します
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2	1				契約時に説明を行うようにしています
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1	1	1			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。			1	2		事業所で家族支援プログラムは行っておりません。ご相談がございましたら各専門職から個別に説明を行っております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2			1		送迎時に保護者とコミュニケーションを取る事で、日々の状況をお伝えするようになっております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。			1	2	面談を行い、現状把握や日々の療育の様子子の情報交換が必要	日々の様子や現状把握は毎日送迎時に保護者と少しずつ行っていたが、不足しているようなので、別日に設けていきたい
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			1	2		
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	1				相談や申し入れがあれば、迅速に対応するようにしております。
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2	1					
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。		1		2		毎月、文章や写真を使って通信を作成し活動内容や行事予定を保護者へ送付している。自己評価結果は法人HPに掲載しております。	

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。				3		各種マニュアルは作成しており、事業所で活用できるようにしております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			2		火災、震災等の避難訓練を行っております。利用者のその日の体調を考慮して参加できていない場合もあります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1			2		安全計画を作成し、各設備の安全点検も定期的に行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3					事故等が発生した場合には速やかに保護者に連絡するよう努めております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	3			1		安心、安全に通所していただけるよう心がけております。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	2					
	29	事業所の支援に満足していますか。	2	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		はなまる学園		公表日		2026年 2月 12日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		児童が自由に遊んだり、動き回る事ができるスペースは確保されている	使用していない部屋にバギーを置く等でフロアを整備している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		遊ぶスペースにはフロアマットが敷いてあり、バリアフリーにもなっているので障害の特性に合わせた設備にしている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		掃除が行き届いていて、清潔感ある環境にしている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		医務室や、療養室があり環境を変えて使用できる状態である	感染症流行時には別室で対応できるよう配慮している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画と担当者会議を軸にPlan（計画）Do（実行）Check（評価）Action（改善）ができています	周知が漏れないよう注意していく	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		評価表を用いて業務改善に努めている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			きちんとした機会ではなく適宜行っており、意見を伝えられていない従業員もいる 適宜ではなく、改めて行える機会を設けたい	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	外部評価を現状は行っていません	外部評価を行う必要がある	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		研修受講機会はあり、現地やWEBでも研修を受講している		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		HPに載せ、公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			モニタリング時期のみでなく、送迎時にも保護者の声を聞くようにしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		職員がすぐ目を通せる場所に児童の計画書を置いていたため共有しやすくなっている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		医療的なアセスメントだけでなく、多職種による評価も合わせたうえで関わるようにしている		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		利用者の支援内容については、具体的に達成しやすい目標設定になっている	個々の特性に応じた目標設定にするよう工夫している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>			障害の特性上、少し固定してしまう児童も多い	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		<input type="radio"/>		障害の特性上、個別活動が多くなってしまっている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>				

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			チームでの連携を大切にしていながら支援を行っていく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		業務日誌、看護記録は毎日記入し気付いた事は記載している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		「4つの基本活動」を組み合わせさせて支援を行っている	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		利用者が自己表現できない場合は、体現や表情を見ながら状態を把握できるよう努めている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		相談支援事業所の担当者会議等には児童発達支援管理責任者が参画している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			児童の主治医の医療機関とは、やり取り等があるが地域の関係機関との連携は難しい
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校に送迎で向かった際に、先生との情報共有ができています	必要時に助言がいただけるよう連携を図ってきたい
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			就学前の事業所等との情報共有はできていない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		電話でのやり取りが多いが、支援内容の情報を提供している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			支援センターからの研修連絡を受け取る事はしているので、連携を取れるよう参加機会を設けたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			児童館や児童クラブとの交流は難しく、活動機会は少ない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		帰りの迎えの際に、毎回状況を伝え合っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			保護者会や、きょうだい児の交流機会は設けていない 設けられるよう協議してきたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		いつでも連絡していただけるように体制は整えている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月、文章や写真を使って通信を作成し活動内容や行事予定を保護者へ送付している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			声だけでなく、表情や体現も見て対応している
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域住民を招待等に行っていない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルは策定している	家族への周知は不十分であると感じたため、周知できるよう掲載等で対応していきたい
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、委員会も設置している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		発作時の対応をマニュアル化し掲示して、服薬等すばやく行えるようにしている	フロア内でチェックリストを活用して、毎日服用時にスタッフ間で二重チェックしている
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			アレルギーに対する確認は行っているが主治医からの指示はない。対象児がいれば指示書の作成を行っていく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、点検等定期的に行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			家族への周知は不十分であると感じたため、周知できるよう掲載等で対応していきたい
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを共有できるよう目を通しやすい場所に保管されている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			委員会から出た内容を共有徹底していきたい
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束については契約時に保護者に説明を行っているが、現状は身体拘束等を行っていない	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はなまる学園		
○保護者評価実施期間	R7年 11月 1日		R8年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	R7年 11月 1日		R8年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 1月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	重心型の放課後等デイサービスのため、配置基準である専門職が配置されており、各分野ごとの強みを活かしたサービス提供ができる	それぞれの職種が専門性を活かし、他職種で連携して療育を行っている	今後もサービス内容が充実できるよう、細かな聞き取りを行い満足度に繋げていきたい
2	生活介護との多機能型のため、スムーズな移行ができる	相談支援事業所と、利用者や家族と一緒に面談やFAX等で情報を共有している	今後も事業所内にとどまらず、相談支援事業所や学校等と連携を図り、生活支援に努めていきたい
3	入浴サービス、土曜日祝日開所による保護者の負担軽減	入浴サービス、祝日開所をすることで保護者の家庭での負担を軽減することができている	利用者や職員配置を含め、土曜日祝日開所は今後も継続していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や保護者やきょうだいの交流の場を設ける活動ができていない	学校終了後からの利用のため利用時間が短く、入浴等で利用時間が終わってしまう	感染対策に気をつけながら、きょうだい交流や地域交流が行えるよう検討していきたい
2	外出をする機会が少ない	学校終了後からの利用のため外出をする時間を確保できない。	現状通り長期休みを利用して、外出、イベントを行う機会を確保したい
3			